

**製品名: eIF2B $\delta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10367**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	57kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EIF2B4
別名	EIF2B4; EIF2BD; Translation initiation factor eIF-2B subunit delta; eIF-2B GDP-GTP exchange factor subunit delta
遺伝子 ID	8890.0
SwissProt ID	Q9UI10
免疫原	抗血清はヒト EIF2B4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 226-275

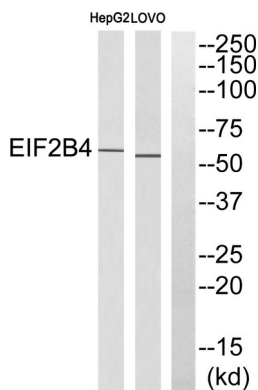
**背景**

真核生物の合成開始因子 2B (EIF2B) は、タンパク質合成に必要な 5 つの異なるサブユニットからなる GTP 交換因子です。この遺伝

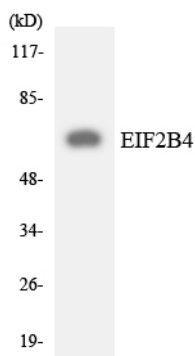
子によってコードされるタンパク質は、4番目のサブユニット、すなわちデルタサブユニットです。この遺伝子の欠陥は、白質消失を伴う白質脳症 (VWM) および卵巣白質ジストロフィーの原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患: EIF2B4 の欠陥は、白質消失を伴う白質ジストロフィー (VWM) の原因です[MIM:603896]。VWM は、主に小児に発生する白質ジストロフィーです。神経学的徴候には、進行性小脳失調症、痙性、不定性視神経萎縮、および比較的保たれた精神能力などがあります。この疾患は慢性進行性で、ほとんどの患者において、発熱性感染症や軽度の頭部外傷後に急速な悪化を繰り返します。小児期発症が最も一般的ですが、重症型の中には出生時に明らかなものもあります。ケベック州とマニトバ州のクリー族とチッペワヤン族に見られる重症の早期発症型は、クリー白質脳症と呼ばれます。軽症型は、青年期または成人期まで症状が明らかにならない場合があります。軽症型で青年期まで生存する女性の中には、卵巣機能不全を呈する人もいます。この疾患の亜型は、卵巣白質ジストロフィーと呼ばれます。機能: 真核生物開始因子 2 に結合した GDP と GTP の交換を触媒します。類似性: EIF-2B の  $\alpha/\beta/\delta$  サブユニットファミリーに属します。サブユニット:  $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 、 $\delta$ 、 $\epsilon$  の 5 つの異なるサブユニットからなる複合体です。

## 研究分野

## 画像データ



EIF2B4 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが EIF2B4 ペプチドでブロッキングされている。



EIF2B4 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。